



大阪府
医療法人宝樹会
福西歯科クリニック

吉田 健二
先生

今回のアイテム

オブチボンドXTR/エヌ・エックス・スリー

オブチボンドXTRとNX3デュアルキュアを用いたセラミックス補綴物の接着

今回、オブチボンドXTRとNX3の臨床使用実感について報告させていただきます。

セラミック修復の際、特にガラスセラミックは歯質との確実な接着がなければ破折を招くため、レジンセメントの接着力およびその長期安定性はセラミック修復の成功において最重要である。

その点に関し、ボンディングシステムであるオブチボンドXTRの実験データは十分に高い接着強度を示している。また、熱サイクルテスト、水中保管テストにおいても優れた接着耐久

性を有することが示され、長期的な接着力の維持も期待できる。

レジンセメントであるNX3は、機械的強度が高いためブランクトラップとなるセメントラインの摩耗が生じにくいと思われる。また、研磨性も良好なため、セメントラインの着色も生じにくいと考えられ、長期的な審美性の維持にも非常に有利であると考えられる。

さらに、デュアルキュアタイプのペーストには、セメント変色の原因となるアミンが含有されていないことも審美性の維持に貢献すると思

われる。

このように、オブチボンドXTRとNX3は、接着システムに求められる具備条件をしっかりと満たしていると考えられる。

臨床での使用については、オブチボンドXTRは直接法と間接法の両方で使用できるため、診療室の材料が削減できるという利点がある。しかしながら、液垂れしやすいボトルと薬品臭が強いという点は改良が望まれる。

NX3については、5色のセメントペーストと色調が同じトライインジェルがあるため、症

例に合った適切なセメントの色を選択することが可能である。また、デュアルキュアタイプのペーストはオートミックスシリンジを採用しており操作性が良いというだけでなく、2〜3秒の光照射で半硬化させると、セメント除去が容易に行える点は術者にとって非常にありがたい。

この接着システムの持つ性能を最大限に発揮させるためにも、接着操作の際に確実なラバーダム防湿を行うことは不可欠である。



1. 術前の状態。ハイブリッドセラミックインレーが装着されていたが、失活しており根管治療が必要であった。



2. 根管治療を終え、セラミックオンレーを接着する際にラバーダム防湿を行った。



3. セラミックオンレーの接着面はサンドブラストし、リン酸エッチングのあとシランプライマーで処理を行い、オブチボンドXTRアドヒーズを塗布した。



4. 清掃後の歯面処理は、オブチボンドXTRプライマーを20秒間ブラッシングモーションで作用させたあと中圧のエアで乾燥。その次にアドヒーズを15秒間ブラッシングモーションで塗布し、強圧のエアで乾燥させた。



5. セラミックオンレーにNX3デュアルキュアセメントのイエローを塗布した。



6. 支台歯に圧接し、2〜3秒の光照射で半硬化させ、セメント除去を行った。



7. 術後の状態。研磨されたセメントラインは非常に滑沢である。